

1. 内外政

- ・10日、憲法裁判所による選挙結果の確定を受け、内閣が総辞職。
- ・11日、レアンカ首相代行及びフィラト自由民主党党首は、それぞれヌーランド国務次官補と電話会談を実施し、選挙結果及び新政府の優先課題につき議論。
- ・11日、レイドマン共産党議員は、共産党にいくつかの政府機関を運営させてくれれば、同党は与党連合結成投票や(2

016年に予定される)大統領任命投票等の際に賛成票を投じる等、親欧州与党連合と協力する用意がある旨発言。

2. 経済

- ・11日、ブマコフ農業・食料産業大臣は、モルドバワインの輸出促進と二国間経済協力強化のため日本を訪問。2日間の日程で、モルドバワイン市場開拓や雑誌取材を実施。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。
(了)